

The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室
発行人：出版室長 小林 祖承
〒520-0113 大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)
Eメール：t-press@tendai.or.jp

令和6(2024)年8月1日 木曜日
(毎月1日発行) 1部80円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



比叡山宗教サミット37周年 「世界平和祈りの集い」8月4日に開催



「平和の鐘」が響くなか、平和を祈る教宗派の代表ら
(令和5年8月4日)

比叡山宗教サミット37周年「世界平和祈りの集い」が8月4日、比叡山上で開催される。日本全国から宗教者が集い対話し、それぞれの儀礼を尊重しながら心をひとつに世界平和への祈りを捧げる。

比叡山宗教サミット「世界宗教者平和の祈りの集い」は、ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世の提唱によりイタリア・アッシジで開かれた「世界平和の祈り集会」の精神を引き継ぎ、昭和62年(1987)に開催。以来、周年記念行事を毎年実施し、世界各地の諸宗教者が恒久平和実現のための使命と責務を語り合ってきた。

従来屋外で執り行っていた式典は、昨年から屋内外の2部構成での開催となり、本年は延暦寺会館にて13時から開会される。

「平和の力を信じ——中村先生の意志を継いで——」と題して、ペシャワール会PMS(ピースジャパン・メディカル・サービス)支援室室長の藤田千代子氏が、故中村哲医師と共に尽力したパキスタンやアフガニスタンでの平和医療活動について講演。また昨年同様にSDGsの観点から、記念品の代わりに制作費相当の浄財を日本ユニセフ協会に寄託する。

一隅を照らす会館前「祈りの広場」では、サミットで

採択された比叡山メッセージを朗読し、平和の鐘を鐘打して各宗教者が黙祷で祈りを捧げる。主催者代表の大樹孝啓天台座主猊下が「お言葉」を述べられ、海外からの平和のメッセージが披露される。15時20分頃から屋外で行われる「平和の祈り」は、オンラインでライブ配信される予定。プログラムの詳細は左記の通り。(4面に関連記事)

令和6年8月4日(日) 13:00開式

平和の式典(屋内)	
13:00	開式
13:05	平和を語る(藤田氏講演)
14:20	ユニセフ支援金寄託式
平和の祈り(屋外)	
15:20	比叡山メッセージ朗読
15:30	平和の鐘・平和の祈り
15:35	海外からの平和のメッセージ披露
	閉式

詳細は 天台宗公式ホームページ
<http://www.tendai.or.jp>

動画配信サイトYouTubeにて
同時配信
配信時間/ 15:10～

サミット特設サイトQR ▶



極微

個人情報の扱いについて、この頃は厳しくなっている。例えばテレビの街頭インタビューでも個人を特定できないように、肩から下の映像にしたり、顔が映っていないモザイクをかけたりにしていることがある。かつては、ほとんどなかったことだ。もちろん、顔が映っている映像は顔を出すことに同意の上のものであるが、以前より、個人情報に対する人々の意識が高まってきている気がする。ネット社会といわれる現代においては、匿名性を利用して個人攻撃になるような誤情報を流されたりするプライバシーへの侵害行為が目立つ。そのため個人情報の扱いに神経になってきているのだろう。ただ、個人情報の扱いが厳しくなった世情をいふことに、個人情報以外でも、情報開示しない公的機関が増えてきている。開示された情報のほとんどすべてが「黒塗り」となっていた例もあった。探られたくない内容を隠すための都合の良い方法となったようだ。進学先の上の学校へ生徒たちの申し送り事項の伝達がなかったり、子ども同士の関係の情報不足を招いたりするらしい。昔と違って情報の拡散のスピードが早く範囲も広い時代となつて、情報保護に対する意識が高まるのも無理もないところだ。これからは、試行錯誤をしながらよりよい公開基準を探っていくかねばならないだろう。難しい時代になったものである。